

使途特定寄付金 募金目論見書

「第 51 回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第 14 回日本精神保健福祉士学会学術集会」 に関わる使途特定寄付金の募集について

1. 本使途特定寄付金の名称

「第 51 回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第 14 回日本精神保健福祉士学会学術集会 サポーターズ協力金（通称：サポーターズ協力金）」とする。

2. 募集総額

項目 8 に記した募集期間中に集めた金額とする。

3. 募資金額

1 口 3,000 円（口数に制限なし）

4. 募集理由

2015 年 6 月 25 日～27 日に福島県郡山市で開催する、「第 51 回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第 14 回日本精神保健福祉士学会学術集会（以下、「第 51 回全国大会・第 14 回学術集会）」の事業実施資金に充当するため。

◆「公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会」開催事業

本協会構成員をはじめとした精神保健福祉士の資質向上と精神保健福祉士を含む国民との相互交流等を目的とする。

◆第 51 回全国大会・第 14 回学術集会 テーマ・開催趣旨

「共生・創造・未来 ～はじめよう、ここから！～」

今年度は本協会が設立されて 51 年目になる年です。昨年度は、埼玉県において 50 周年の全国大会・学術集会が盛大に行われ、50 年間の精神保健福祉士の想いと実践を振り返り、次の 10 年間の我が国の精神保健医療福祉の姿とメルクマールについて深められました。それを受けて、今年が新たな一歩となる年です。それに加え、忘れられない、忘れてはいけない 3.11 の東日本大震災から、4 年が過ぎ 5 年目の年です。被災に遭われた地域は復興にはまだまだ程遠い状況であり、まして本全国大会・学術集会開催地である福島県は、大津波、大地震、原発事故、風評被害に遭い、他県とは異質な状況にあります。このような状況に在りながらも、みんなが懸命に前を向いて進んでいます。精神保健福祉士もまた、前を向いて進んでいます。

この様な状況だからこそ、「みんながひとりでは無いんだ」との想いで、障害を持っている人、被災を受けた人、支援をしている人、福島に住んでいる人が「共にガンバって生きている、ここに生きているんだ」という確固たる証を、大震災に遭ったことは「負」では無いんだと、「宝」になるんだという想いを、新たな一歩としての精神保健福祉士の熱い想いを全国の人に示したいと思います。

5. 募集対象

本事業に賛同する個人、法人、法人でない団体

6. 申込方法及び支払方法

「第 51 回（公社）日本精神保健福祉士協会全国大会・第 14 回日本精神保健福祉士学会学術集会サポーターズ申込書」に必要事項を記入の上、本協会事務局へ F A X ・ E メールで送付、または第 51 回全国大会・第 14 回学術集会事務局に直接提出とする。

支払は、所定の銀行口座へ振り込むか、第 51 回全国大会・第 14 回学術集会事務局へ現金にて支払う。

7. 資金使途

受け入れた寄付金は、第 51 回全国大会・第 14 回学術集会の事業経費（適正な募集経費を含む）に 100% 充当する。

8. 募集期間

2015 年 4 月 27 日～2015 年 6 月 15 日

9. その他

本使途特定寄付金を現金にて受領した場合は、必ず領収書を発行する。振込にて受領した場合は、原則として振込時の金融機関における明細票をその代わりとし、申込者の求めに応じて別途領収書を後送する。